

武蔵野音楽大学

音楽指導者セミナー

ターム2 11:05~12:35

ピアノ



講師：村上 直行

幼児期や小学生を対象とした 効果的なピアノ指導法

主にピアノ導入期である幼児期や小学生を対象とした指導法について説明します。子供たちにどのように指導すればピアノや練習が好きになるのか、また、音楽を表現するうえで必要な事柄を習得出来るかを子供や保護者の心理を探りながら、効果的なピアノ学習法やテクニックのつくり方を交えて考察します。

声楽



講師：谷 友博

初学者を対象とした声楽発声法と指導語

中学、高校生の声楽初学者を対象とした基本的な声楽発声法の指導法講座を行います。普段ご指導されているうえでの問題点、課題等に沿って実践を交えて解決法を探ります。また指導語にも焦点を置き、指導語の抽象的な表現についても考えます。イタリア古典歌曲Caro mio ben(中声用)、唱歌ふるさとを題材として使用します。※楽譜を配付・回収します。お手持ちの楽譜がある方はご持参ください。

管弦楽・管楽器
指揮



講師：高井 優希

管弦楽作品の指揮

管弦楽作品の楽曲分析および指揮のスキルアップを目指します。

●課題楽曲

L.v.ベートーヴェン：交響曲第1番 ハ長調 作品21

【モデル指揮受講生】（定員3名）

講座の中でモデルとして指揮をしていただき、必要に応じて講師が助言いたします。

【聴講生】（定員40名）

※オーケストラのスコアをご自身でご準備ください。

※講座ではピアノ2台で演奏します。

音楽学



講師：市川 克明

もうひとつの音楽史

19世紀前半パリ：政治・社会・メディアからみる音楽文化

復古王政期のパリでは、政治的変動と並行して音楽文化の再編が進展しました。ロッシーニ歌劇の隆盛、音楽家たちの訪問や移住、音楽院管弦楽団の成立とベートーヴェン受容などが交錯します。さらに技術革新は楽器「改良」と音楽メディアの発展を促し、音楽批評と過去作品への関心を高めました。本セミナーではパリを軸にこれらの動向を実演を交えながら再考します。